

## 「量子ビームによるナノバイオサイエンス技術」特集 Nano-Bio Science and Technology Using Quantum Beam

論文誌C（電子・情報・システム部門誌）では平成29年3月号に「量子ビームによるナノバイオサイエンス技術」特集を企画しています。

近年、量子ビーム技術とナノバイオ技術は広範囲に進展しており、レーザや放射光のX線を含む広範囲の波長領域の利用が可能になり、さらに電子・イオンビームによるナノ加工や中性子による物性評価は特異な技術を提供しています。また、バイオチップ、 $\mu$ -TASなどのバイオ分析技術への応用においても新たな展開がみられています。これまで量子ビームと関連するナノバイオ技術の分野において、平成19年2月、平成21年2月、平成22年10月、平成26年4月と、それぞれC部門論文誌に特集を組んできました。また平成26年4月「ナノバイオに関わる原子構造体の機能発現」、平成26年10月「ナノサイエンスからナノバイオロジーへの発展機構の解明の糸口を探して」と題して開催した研究会においては、それぞれ多くの論文による資料集として上梓しました。

今回も、これら学際的技術分野である「量子ビーム技術」とそれを用いた「ナノバイオ技術」、「バイオエレクトロニクス技術」、「生命科学」や「医薬」の分野も含めて、これら異分野技術を一覧でき、かつそれらの連携協力を図る交流の場として、平成29年3月号に「量子ビームによるナノバイオサイエンス技術」特集号を企画しました。

以下の分野に関連のある研究者の方の論文を広く募集致します。下記のキーワードとその周辺分野を参考にして、奮ってのご投稿をお待ちしています。なお、査読の都合により特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了解ください。

### 対象分野およびキーワード：

- ・光源技術（放射光，X線レーザ，自由電子レーザ，レーザ技術，評価・応用）
- ・原子・分子・イオンビーム，電子ビーム，ガンマ線，中性子ビーム技術
- ・量子ビームを用いたナノ科学（超微細加工，ビーム誘起反応，物性評価）
- ・ナノバイオ科学（バイオエレクトロニクス，バイオセンサ， $\mu$ -TAS）
- ・量子ビーム・ナノバイオと医薬
- ・その他

投稿締切：平成28年5月30日（月）

投稿方法：詳細は電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。

[http://www.iee.jp/?page\\_id=642](http://www.iee.jp/?page_id=642)から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://submit.iee.or.jp/main/cgi/sstk-top.cgi> からご投稿下さい。

電子投稿・査読システムの「論文投稿」画面において「量子ビームによるナノバイオサイエンス技術」特集を選択して下さい。投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。電子メールを用いた投稿，郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

ゲストエディタ／問合せ先： 中川幸子

岡山理科大学 理学研究科 材質専攻  
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1  
E-mail: [stnak@dap.ous.ac.jp](mailto:stnak@dap.ous.ac.jp)